



～世界糖尿病デー 2025～
第189回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第228回 I I D E S 糖尿病研究会
第163回CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2025年11月22日(土) 14:00～17:15
場 所 : 神戸商工貿易センター 26階 第1会議室
神戸市中央区浜辺通 5-1-14 TEL:078-251-5489

プログラム :

14:00～14:15 アストラゼネカ株式会社 一情報提供—

14:15～16:15 (座長: 松下 健次 医療法人社団 仁和会 神野病院 副院長、
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

(14:15～15:15)

基礎講座 17. 『糖尿病のスティグマとアドボカシー活動について』

兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科 芳野 啓 先生

(15:15～16:15)

**講演 1. 『地域で一丸となる最新の慢性腎臓病チーム医療について
～DKDの観点から～』**

神戸市立西神戸医療センター 腎臓内科 部長代行 垣田 浩子 先生

16:15～17:15 (座長: 芳野 原 先生 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

講演 2. 『心・腎・生命予後を考えた糖尿病診療

～グルカゴンとダパグリフロジンの視点を含めて～』

群馬大学 生体調節研究所 教授・生活習慣病解析センター長 北村 忠弘 先生

注) ① 会場とオンライン同時配信によりハイブリッド講演会になります。

② 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

(1) 参 加 費 : 2,000 円

(2) 申 込 方 法 : 事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加か会場参加か（オンラインの場合、必要な単位申請先）を明記の上、E-mail（パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください）、またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ更新のための認定単位が必要な方はWeb講習は対象外です。また、日病薬薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局 : 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所 (NPO-IDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail: yoshino@npo-ides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 基礎講座: CC5・1単位、講演1: CC10・1単位、講演2: CC76・1単位

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 日病薬薬学認定制度 Ⅲ-2・1単位、V-2・0.5単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会
アストラゼネカ株式会社

オンライン参加の方へ

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
(オンライン参加費振込締切日は11月20日まで。振込手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
 2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
 3. 当日オンライントラブル連絡先：アストラゼネカ株式会社 窓口 赤木 (TEL:080-3100-6461)
- ※ご連絡頂く「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【認定単位の必要な方へ】(単位取得までの流れ)

- 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。
キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。

1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、参加証(単位申請用)を送付いたします。

2. 日医生涯教育講座認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名(ふりがな)、所属医師会、医籍番号を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、単位申請いたします。

一抄録一

基礎講座17. 『糖尿病のスティグマとアドボカシー活動について』

芳野 啓 先生 兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科

糖尿病のスティグマとは、「社会における誤ったイメージや偏見」として、患者が就職や保険加入で不利益を被る状況を指します。JADECは2019年に日本糖尿病学会と合同でアドボカシー委員会を設立し(2025年8月現在も継続)、「偏見にNo」などの啓発や、差別を生む医療用語の見直し(例:「糖尿病患者」→「糖尿病のある人」)などを推進しています。今後は、名称変更議論の深化や、社会全体での理解促進による制度的支援体制の強化が重要な課題です。

講演1. 『地域で丸となる 最新の慢性腎臓病チーム医療について～DKDの観点から～』

垣田 浩子 先生 神戸市立西神戸医療センター 腎臓内科 部長代行

糖尿病関連腎臓病(Diabetic Kidney Disease: DKD)は、1998年に慢性糸球体腎炎を抜いて、透析導入の原疾患の第1位となっており、長年にわたり増加の一途をたどってきました。しかし近年、ようやくその傾向が減少に転じつつあります。この改善は、糖尿病・高血圧・脂質異常症に対する新たな治療薬の登場による集学的治療の進展に加え、糖尿病治療の重要性に対する啓発活動や、栄養・生活指導を含む多職種による支援体制の成果と考えられます。今後さらにDKDの進行を抑制し、透析導入の原疾患としての地位を後退させるためには、病診連携を基盤としたチーム医療の一層の強化が不可欠です。地域の先生方にご紹介いただきやすい体制づくりを目指し、当院で実施している慢性腎臓病に対するチーム医療の取り組みをご紹介します。

講演2. 『心・腎・生命予後を考えた糖尿病診療～グルカゴンとダパグリフロジンの視点を含めて～』

北村 忠弘 先生 群馬大学 生体調節研究所 教授・生活習慣病解析センター長

最も正確なグルカゴン・サンドイッチ ELISAの開発に成功しました。糖尿病患者さんのグルカゴン値をどのように病態診断、ならびに個別化医療に応用するかディスカッションさせて頂ければと思います。
また、フォシーガの心・腎・生命予後に対する様々な効果をグルカゴンの視点から考えてみたいと思います。

◇会場案内図(神戸商工貿易センター)

- 三ノ宮駅(JR) 三宮駅(阪急・阪神・市営地下鉄山手線)
下車徒歩10分
- 三宮花時計前駅(市営地下鉄海岸線) 下車徒歩5分
- 三宮駅(ポートライナー) 貿易センター駅下車すぐ

